

● 特集

堺でがんばる 外国人経営者

アルドネット株式会社
エバーラスティング株式会社

- 「継ぐ」極意 ⑤
今の時代に合った経営へ
社長就任前から主体的に動く
株式会社堀製作所 堀 泰雄さん
- 堺のすご腕 ② ③
「スリット」で飛躍的に品質を向上
有限会社三宝金型製作所
- SAKAIの傑作 ①
1台で何役も活躍する
ポータブルジャンプスターター
有限会社ダイキ

CASE

エンジニアのキャリアを活かし、 IoTソリューション企業を設立

アルドネット株式会社 / 代表取締役 サファ ローラン

日本でキャリアを積み、人脈を拡げて、企業を設立した外国人経営者たち。言葉や文化はもちろん、ビジネス上の慣習も異なる日本での経営には、人知れぬ苦労もあると思われませんが、それを乗り越えて経営を軌道に乗せているバイタリテイに驚かされます。堺でがんばる2人の外国人経営者から、日本人とは異なる視点での経営術をうかがいました。

大手家電メーカーで技術開発を、 IT企業でWEBと経営を学んで

1997年にフランスから来日したというアルドネット株式会社のサファ ローラン社長。妻の母国である日本で暮らすことを決めた時、エンジニアとして培ってきたスキルを活かせる職場を探したといいます。外国人スペシャリストを求めている大手家電メーカーで採用され、技術研究所で12年間勤務しました。

「ここで研究者として、アイデアを具体化する技術開発に携われたのは、とても重要な経験でした。プロジェクトの進め方など、日本企業独特のマネジメントについても学ぶことができましたね」。

その後、自分に不足していると考えたWEB技術を獲得するため、アメリカ人が経営する企業に転職。3年間、アメリカ式経営のマネジメントに携わった後、2012年、堺市で産業界、工業系に特化したIoTソリューションを開発、提供する会社を設立しています。

「起業することを具体的に意識したのは、IT企業に転職してからです。家電メーカーは企業規模が大きすぎて、全体が見えませんでした。2社目のIT企業では顧客もお金の流れも全てを把握できました。そこで、日本で経営することの自信をつけたのです」。

得意の産業界、工業系に特化して IoTソリューションを開発・提供

「全てをネットワークさせる」を意味する「All do net」が社名の由来だというアルドネット。主に、ものづくり企業の事務処理や現場管理の効率化などをサポートすべく、例えば、現場で収集したデータを、遠隔地からでも手元のスマートフォンなどでリアルタイムに確認したり、または現場データを自動的に処理したりするクラウドサービスを提供しています。

サファ社長は「人材不足が課題となっている今日、IoT技術が必要とする企業は増えていますが、一から開発すれば膨大なコストと日数がかかります。そこで、当社では独自に開発したIoTソリューションのプラットフォームを用意。低コストで、しかも短期間での導入を可能にしました。現在は、私がこれまで培ってきたスキルを活かせる、精密機械メーカーをはじめとした製造業に特化し



「面倒な税務や申請などを処理するには、日本人のパートナーがいたほうが心強い」とサファ社長は語る。



アルドネットに入社したいとフランスからやってきたマルティネス ビンセントさん（手前）と、顧客サポート担当の大久保望さん。



「事業を展開しています」と語っています。

事業領域を絞り込むのと同じく、営業圏を関西に絞り込んでいるのも、経営上の戦略のよう。「以前は東京でも営業していましたが、コストばかりがかかって採算性が低い。というのは、いくらIT時代とはいえ、きめ細かいコンサルティングのためにリアルに会うことが重要だと考えているからです。現在の当社の規模では、まず関西でのビジネスに注力すべきだと判断しています」。

社会的信用を確保し、 導入しやすい中小企業に注力

堺市に会社を設立したのは、妻の出身地だったからとサファ社長。しかし、中小企業の集積地である関西に大きな魅力を感じています。

「大手企業では、なかなか決定権を持つ人に会えませんし、失敗を恐れて新しい取り



距離センサや振動センサなどのデータを手元のスマートフォンやタブレットに表示することが可能。離れていても現場の状況を把握できる「アルドボックス」。

組みに慎重になりがちですが、中小企業とのビジネスは、実にダイナミック。社長の決断がとてもスピーディです。つい東京に目を向けがちですが、市場が大きい代わりに競合も多い。関西や九州などの首都圏外にも大きな可能性があると思いますね」。

ところで、日本で起業するうえで、外国人としてのハンディを感じたことはないのでしょうか。「重視されるのは『信用』だと思いますが、私の場合、大手家電メーカーへの勤務実績があったことは幸運でした。永住者ビザを取得していたことが、金融機関に口座を開くうえで役立っています。また、さかい新事業創造センター「S-Cube」の入股企業だということも、社会的信用を得やすくなっていますね。経営者はずい、自分の力で全てを片付けようと考えがちですが、成功するためには必要な時には助けってもらうことも大切です。私もS-Cubeではさまざまな支援をいただきました」とサファ社長。将来は、フランチャイズで国内外に事業の拡大を図ることを目指しています。

アルドネット株式会社

代表者名／代表取締役 サファ ローラン
本社／堺市北区長曾根町130-42
S-Cube211号
TEL／072-242-6328
設立／2012年設立
資本金／200万円
従業員数／3名
事業内容／コンピュータシステムの企画・開発・制作・販売および保守、コンピュータシステムに関するコンサルティング
<https://www.alldonet.com/>

CASE

ベトナムとのビジネスマッチングで 両国の発展への貢献を

エバーラスティング株式会社 / 代表取締役 デイン ジャ バック

**大学在学中から日本語を専攻
日本の技術力の高さに驚いて**

日本企業へのベトナム人エンジニアの紹介や、ベトナム語の翻訳・通訳など、日越間のビジネスサポートを行っているエバーラスティング株式会社。2006年にデイン ジャ バック社長が設立しました。

ベトナムの大学在学中から日本語を専攻し、いつかは日本企業で働きたいと考えていたバック社長ですが、当初は来日することまでは考えていなかったとのこと。大学卒業後、得意の日本語を活かして、国の海外労働管理局の海外労働者訓練センターで勤務した後、日本の大手ゼネコン企業が手がける水力発電所の建設現場で通訳の仕事に就きました。

「その時に、日本の技術力、特に日本人エンジニアの優秀さに驚かされ、日本で高いスキルを身につけたいと思いました。そして、その知識と経験を持ち帰って母国ベトナムの発

展に貢献したいと考えたのです」。

2000年に来日してからは、ベトナム人研修生（現在の技能実習生）を斡旋する会社2社に勤務。ベトナム人研修生のための通訳や翻訳、日本滞在のケアなどに携わっていたといいます。来日当初は、日本で起業することなど全く想定していなかったそうですが、ベトナム人研修生の受け入れ先である国内各地の企業を巡るうちに、現在のビジネスのヒントを得ました。

**ベトナム人エンジニアへの
日本企業の高いニーズを確信**

「十数年前から研修生として日本企業で働くベトナム人はいいましたが、最近の人材不足などを背景に、ベトナム人へのニーズはより一層高まっています。実際に研修生を採用いただくと、勤勉で真面目な気質が日本人のそれに近いのか、働きぶりを高く評価されることが多く、最長3年の研修期間だけ

ではもったいないという声がよく聞かれました。そこで、ベトナムで工業大学などを卒業したエンジニアを日本企業に紹介するビジネスを思い立ったのです。実際、堺市内のあるものづくり企業では、1人のベトナム人を採用したのをきっかけに、現在は30人近くまで雇用いただいています。日本企業にとって、人材不足は売り上げに影響する重大な課題です。両国にとってメリットのある良い関係が築かれつつあると思いますね」。

最初は神戸に構えていた事業所を堺市に移転した理由について、バック社長は「堺は歴史的にもベトナムと深い関わりがあり、400年前にベトナムに初めて上陸した日本人は堺の人だったと言われています。現在もベトナムの総領事館は堺市にあり、関西国際空港へのアクセスも便利。お客様の企業も堺市に多いことから、当社にとって理想的な立地ですね」。長く暮らすうちに、日本の良さをより知ることとなり、今では母国の家族の理解も得て、日本に骨を埋める気持ちだとも語っています。



日越間ビジネスに関するさまざまな相談やアドバイスが求められるバック社長。そこに今後の新しい事業のヒントがあると考えている。



企業とベトナム人エンジニアをマッチングさせた後も、両者にきめ細かいサポートを怠らない。繰り返し依頼される理由の一つだ。



工場進出や販路開拓など ビジネスマッチングを幅広く展開

外国人であるバック社長が日本で会社を設立することについては「外国人であるがゆえのデメリットは感じたことがないです。もちろん、免許申請や税制、社会保険、労働法のシステムなど理解しなければならぬことはたくさんありましたが、関係省庁を直接訪ねて質問しても丁寧に対応していただきました。むしろ、外国人であるがゆえのメリットの方が大きいかもしれませんね。まだまだベトナム人経営者が少ないなか、話を聞いていただきたいと感じています」。

バック社長は自社の強みとして、在日年数が長く、日本の文化や慣習をよく理解していることや、ベトナムにおいてはハノイとホー



勤勉で真面目なベトナム人エンジニアを求める日本企業は、年々増加しているという。

チミンの両市に人脈を持つていること、何よりベトナムエンジニアの紹介実績が豊富なことを挙げています。最近では、人材の紹介だけでなく、ベトナム進出に関する情報やアドバイスの提供を求められることも増えたとか。この7月にはホーチミン市に事業所を立ち上げ、こうした幅広いニーズに応えていくとしています。

「日本企業に勤めたベトナム人エンジニアが、帰国後も同じ会社で働き続けられるケースも出てきています。ベトナムは日本企業の誘致に積極的であり、また日本企業にとってもベトナムは生産拠点としてだけでなく、製品やサービスの販売先として魅力的なマーケットだと思っていますね。当社が日越間の架け橋となつて、両国の発展に貢献できればと考えています」。

エバーラスティング株式会社

代表者名／代表取締役 ディン ジャ バック
本社／堺市堺区車之町東1-1-2-202
TEL／072-233-7033
設立／2006年設立
資本金／700万円
従業員数／4名
事業内容／ベトナム人エンジニア有料職業紹介事業、ベトナム語・日本語通訳翻訳事業、ベトナム進出支援ビジネスコンサルティング
<http://www.everlasting-japan.com/>

「継ぐ」意極

専務取締役
堀 泰雄さん

パソコンへの興味から、大学は経営情報学部へ。卒業後はIT企業に就職したという堀泰雄専務取締役。株式会社堀製作所に入社したのは2007年です。堀大三社長が「ベテラン技術者のいるうちに、現場のことを学んでほしい」と声をかけたとか。現在は、現場に入りながら、お得意先に同行したり、他社の経営者との交流から経営について学んだり、事業承継に向けての準備中。堀社長は円滑な承継のために「今から自分で主体的に考え、行動できるように余計な口を出さないようにしている」と語っています。

これまで培ってきた技術や精神を継承しながら、さらに新しい時代の技術を取り入れ、自社の強みとして発展させていきたいと話す堀専務。そのために重要なのは「同社が『会社の宝』と大切にしてきた人材だと考えています。学生時代にアルバイトで現場を手伝っていたという堀専務は「納期に対応するため、朝早くから夜遅くまで、時には休日返上で頑張っている社員たちを見てきました。祖父や父の時代とは異なり、これからは優秀な人材を確保するために働き方を見直すべきだと考えています」と外部の専門家を交えて、勤務形態を見直しているところです。

経営面でも得意のITスキルを活かして、生産管理システムの構築を進めるほか、図面も全てデジタル保存にするなどの効率化を図っています。が、その一方で現場では、今も紙の図面のほうがスクロールしなくても「覧できますし、その場で書き込みもできるので作業効率が高い。変えるばかりでなく、変えなくてもいいことの見極めをきちんとやっていきたい」と語っています。

今の時代に合った経営へ 社長就任前から主体的に動く

株式会社堀製作所

本社／堺市堺区神保通1-9 TEL／072-221-4137

NC旋盤やマシニングセンターによる医療機器などの精密機械部品や金型部品の製作を行う。1966年の創業時から、レントゲン部品の製造に携わるなど、技術の確かさに、得意先からの評価、信頼性は高い。
<http://www.hori-ss.co.jp/>



堺の伝統を未来へ。

堺市の伝統産業に従事する、若手職人を紹介します。



生地の上から染料を注ぎ込む「注染」。現在は、全ての工程の修行中だという。



次期4代目に期待をかける西川由紀社長と。



堺が誇る「注染」の魅力を若い世代に伝えたい。

折り重ねた和晒の生地に染料を注いで染める「注染」。なかでも、堺で継承されてきた注染は、多彩な色を使っている「ぼかし染め」が特徴的です。

かつては石津川沿いの毛穴地域を中心に数多くの注染業者が軒を並べていましたが、今や数軒だけがこの伝統技法を継承しています。なかでも西川由染晒工場は、今も唯一、和晒と注染の「貫生産を行っている会社で、今春、跡を継ぐべく西川由常務取締役が帰ってきました。

「注染は斜陽産業とされ、父からも跡を継げと言われませんでした。そこで、大学在学中はホテルでインターンシップに参加するなど、サービス業を中心に就職活動を行い、ほぼ内定もいただきましたが、何か違和感がありました。4回生の時に父たちを手伝うなかで、自分がやりたい仕事はやはり注染だとはっきり意識したんです。発案から真っ白な晒に柄を染め上げて完成させるまでの全工程を見ることができ、その達成感に魅力を感じました」。

卒業後は、同業者の協和染晒工場で3年間修業を重ねたとか。小さい頃からずっと思っていたことなので、自分にもできると思っていた甘さは、1年目に打ち砕かれたといいます。「水洗や立て干しの作業で、ひどい筋肉痛にも悩まされましたが、2年目、3年目と自分の成長を実感することも増えて楽しくなりました。こうした職人仕事は器用さやセンスがあれば習得も早いでしょうが、一番大切なのは『この仕事が好き』という思いだと思います。休日のリフレッシュ法は、趣味の寺社巡り。訪ねた先の有名寺社で、自分が染めたものを見るのも大きな喜びだと話しています。

注染の担い手も少なくなりつつある今日、堺市産業振興センターでは、堺注染和晒興業会と「堺注染職人養成道場」を今年9月から開講し、若手職人の育成を進めます。西川常務も「昔ながらの厳しい『見て覚えろ』式は、若い世代にはついていけない。世代の近い私の役割として、いつか今の時代に合った職人の育成に携われたらと思います」と語っていました。

最近、堺の注染は、おしゃれな雑貨やズボンなど若い人々向けの商品開発に注力していますが、一方で原点である手ぬぐいなども大切に継承していきたいと西川常務。これからの西川由染晒工場について「ぜひ、私に期待いただきたい」と力強く語っていました。

取材協力

株式会社西川由染晒工場

堺市中区毛穴町 334
☎ 072-271-0918(代)



てぬぐいフェス開催! 2018.7.22日 Minaさかい市民交流広場にて

主催:堺注染和晒興業会/てぬぐいフェス実行委員会



なかもず3機関連携セミナー開催のお知らせ

町工場からIT企業へ事業展開 ～オーナー経営者の志～

セミナー&交流会

堺市なかもず地域には、3支援機関（堺商工会議所、さかい新事業創造センター、堺市産業振興センター）が集積しております。今回は共同でセミナー&交流会を開催します。
『（第1部）セミナー』では、第二創業により、IT事業を推進、株式上場まで果たされた、株式会社スマートバリューの代表取締役社長の 渋谷 順氏 に講演いただきます。
また、『（第2部）交流会』は、普段交流できない多数の方との交流ができる機会ですので、ぜひご参加ください。

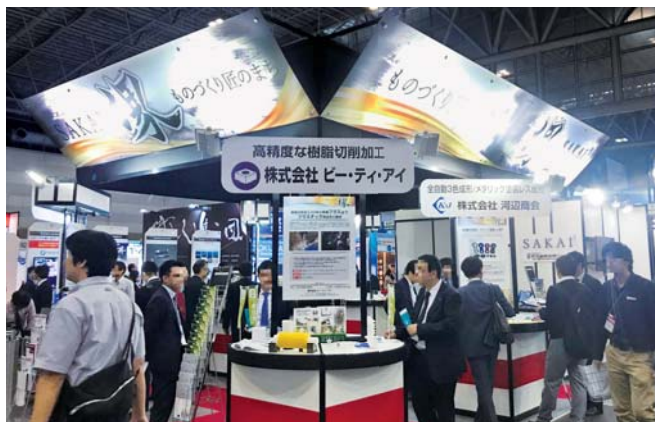
日時 平成30年10月2日（火）16:30～20:00（第1部：セミナー）16:30～18:00・（第2部：交流会）18:30～20:00
定員（第1部）50名
参加費（第1部）無料、（第2部）1,000円/人
参加費は、当日交流会の受付時に徴収させていただきます。釣り銭が無いようにご持参ください。
場所（第1部）堺市産業振興センター 5階 コンベンションホール
（第2部）さかい新事業創造センター 1階 多目的会議室
主催 堺商工会議所、(株)さかい新事業創造センター（S-Cube）、（公財）堺市産業振興センター

申込・お問合せ

堺商工会議所 総務部 広報・サービス課まで ※お申し込みは、堺商工会議所のホームページから。
TEL 072-258-5502 FAX 072-258-5580



「機械要素技術展（名古屋・東京）」に 堺の優れた技術を持つ企業が出展！



*平成30年4月開催 名古屋機械要素技術展の風景

堺市産業振興センターでは、新たな販路開拓を積極的に行う堺市内の中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる機械要素・加工技術を集めた総合技術展「機械要素技術展」へ共同出展を行っています。

本年度は、4月に開催された「第3回名古屋機械要素技術展（会場：ポートメッセなごや）」には、優れた技術を有する企業5社が出展しました。
また、6月に開催された「第22回機械要素技術展（東京）（会場：東京ビッグサイト）」には、優れた技術を有する企業2社が出展しました。

第3回名古屋機械要素技術展共同出展社

- 株式会社河辺商会 樹脂成形
<http://www.kawabe-co.com/>
- ユーアイニクス株式会社 機器・装置
<http://www.uinics.co.jp/>
- 株式会社ビー・ティ・アイ 樹脂切削加工
<http://www.bti-2.co.jp/>
- 向陽エンジニアリング株式会社 ギア製品
<http://www.koyoeng.biz/>
- 境川工業株式会社 熱交換器
<http://www.sakaigawa.co.jp/>

第22回機械要素技術展（東京）共同出展社

- 関西触媒化学株式会社 化学合成
<http://www.kansyoku.co.jp/>
- 太田鉄工所 金属加工
<http://www.ota-smile.com/>

機械要素技術展 主催 リードエグジビジョンジャパン株式会社

オフィシャルサイト <http://www.mtech-nagoya.jp/>（名古屋） <http://www.mtech-tokyo.jp/>（東京）

お問合せ先 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課

TEL 072-255-6700 / FAX 072-255-1185 / Email : keiei_shien@sakai-ipc.jp



今年の堺注染アロハシャツ

平成30年6月1日から販売中



障害者やニートの社会参加をサポートする 新レストランがグランドオープン



毎日のランチから、ホールでのイベントの後の懇親会など、多様な使い方ができる広い店内。

入り口側の「共有スペース」は、14時以降、憩いの空間に。

ビジネスランチからスイーツまで充実のメニュー

5月7日(月)、堺市産業振興センター内に、レストラン「メゾン・ド・イリゼ」がグランドオープンしました。株式会社グランディエウの小笠原恭子社長が、知的・精神障害者やニート、ひきこもりの人たちに働く場を提供し、社会に出るきっかけづくりを行いたいと運営していた堺市内のカフェが移転したもので、その方針に変わりなく、ホールスタッフには精神障害者やひきこもりの方を採用しています。グランドオープンに先駆けては、スタッフが広がった店内で混乱しないか、スムーズに接客ができるかを確認するため、半月間のプレオープン期間を設けて準備しました。

新レストランでは、これまでのカフェでも好評だった減塩・減カロリーメニューの「りょうえんランチ」(予約制)のほか、ビジネスマン向けに「おろし唐揚げ定食」や「しょうがやき定食」といった5つの定食を新たにランチメニューに加えて充実させています。さらに、本格的なアフタヌーンティーセットも用意し、なかもず周辺に暮らす女性たちの憩いの場になればと考えています。

予算に応じた貸し切りパーティは少人数からでも

また、新レストランでは、席数が60席と増えたことで、「前は10人前後までのパーティにしか利用いただけませんでしたが、さまざまな集まりに気軽にご利用いただければと思います。貸し切りだからといって、店内全てを埋める必要はなく、テーブルひとつからでも承ります。また、小さなお子さんがいるために外出がままならないというお母さんたちが遠慮なく利用できるよう、キッズスペースを作りたいですね。



小笠原恭子社長

店内には絵本を閲覧・購入できるコーナーを設けており、いつか小さなお子さんに人気の絵本作家をお招きしてイベントも開催できたらいいなと考えています」と小笠原社長。

入り口側半分のスペースは「共有スペース」として、ランチ終了後の14時から閉店時間まで、休憩スペースとして気軽にご利用ください。

レストラン「メゾン・ド・イリゼ」

TEL&FAX / 072-257-7420 営業時間 / 10:30~17:00 (夜は予約営業あり)
定休日 / 水曜日、日曜日、祝祭日、その他(臨時休業あり) <http://grandeur-jp.com/>

中小企業を
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

スマートフォンやタブレットで読める!

さかいIPCプレス デジタルブック配信中

無料の専用アプリ、ブラウザでも閲覧OK!

便利な機能がいっぱい!

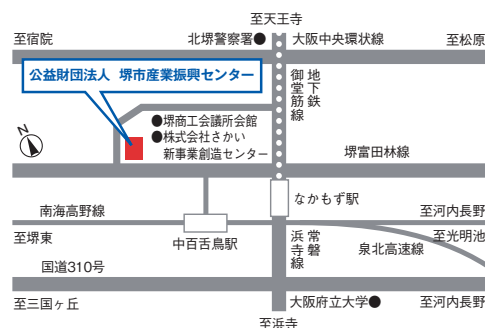
7言語対応

【日・英・中(簡体)・中(繁体)・
韓・タイ・ポルトガル語】

文字ポップ
アップ機能

本文音声
読上げ

※ブラウザ版は音声読み上げには対応していません。



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200
<http://www.sakai-ipc.jp/>



独自に開発された金型では、「スリット」がポイント。原料充填が困難な部に線条スリットが入っている。

らは、大阪の中小企業が開発した環境技術・製品の中でも特に優れているものにと与えられるおおさかエコテック（環境技術評価・普及事業）の「ゴールドエコテック」に選ばれています。

将来の自動化設備にも対応し 少子化による人材不足に寄与

これまで発泡スチロール成形会社において、見直されることなく更新されてきた金型ですが、成形品質と成形効率をより高めることができれば、大きなビジネスに成長するはずと開発に取り組んできた中村社長。開発と実績作り数年をかけて、ようやく完成させました。具体的な効果として、蒸気使用量が約2～3割

削減され、鮮魚輸送箱の成形については生産効率が約40%も向上しています。また、養殖場で使われる俵状の海洋フロート（ブイ）も、従来品では表面の硬さが十分ではありませんでしたが、特殊金型の採用で均一な硬さとなり、浮力も確保されています。

今後のビジョンとして、中村社長は「この特殊金型は成形条件の設定が容易で、熟練した技術がなくても成形が可能です。将来的には成形設備の自動化にも貢献できる。少子高齢化にともなう人材不足にも貢献できるもので、そこに当社の大きなビジネスチャンスがあると考えています」と、未来のものづくりを見据えて語っていました。

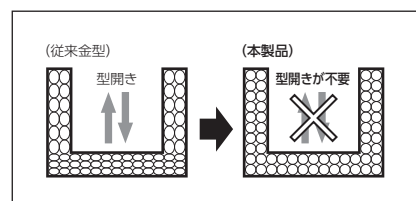
～4mmの球体に膨らませたもの）を、充填させる際に、圧縮空気を排出するための「型開き」という工程が必要です。そのために原料ビーズが均一に充填できず、底の部分と4つの側面では強度が異なっていました。

同社が独自に開発した特殊金型は、金型にスリット（切れ目、隙間）を入れることで、成形時の圧縮空気や加熱蒸気の排出・導入を円滑に行うことができるようにしたもので、原料の充填や加熱成形が均一にできるようになり、その結果、強度の均一化を実現しています。

さらに、こうした「成形品質の向上」に加えて、「蒸気使用量の削減」「冷却時間の短縮」「成形時間の短縮」といった省エネルギー生産効果を高めることにも寄与したとして、近畿経済産業局から「関西ものづくり新撰2018」に選定されたほか、府立環境農林水産総合研究所か



ヘルメット内部の緩衝材にも活躍する発泡スチロール。



（従来金型）
原料ビーズの充填時に「型開き」の工程が必要のため、均一に充填できない。

（特殊金型）
「型開き」工程が不要のため、均一充填が可能となり、強度の均一化を実現。

有限会社三宝金型製作所

代表者名／代表取締役社長 中村 裕一
本社／堺市西区山田3-890-3
TEL／072-271-9289（代）
設立／1969年設立
資本金／300万円
従業員数／12名
事業内容／発泡スチロール・真空成型・FRP用金型一式・一般軽金属加工など





部品を取り付けるための穴あけ作業。

「スリット」で飛躍的に品質を向上

有限会社三寶金型製作所

発泡スチロールの需要が高まるなか いち早く金型メーカーとして創業

1969年創業の三寶金型製作所。1950年代にドイツで開発されたという発泡スチロールの成形用金型にいち早く取り組んだ企業です。

発泡スチロール成形品の「軽量」「緩衝性」「断熱」「成形性（作りやすさ）」といった特徴は、高度経済成長期に一気に普及し始めた家電製品の梱包材として、また重かった鮮魚輸送用の木箱に代わ

る輸送箱として重宝され、需要は高まるばかりでした。創業当時、発泡スチロール成形には、職人の手による木型をもとにアルミ鋳造で金型母材を造形しており、品質に安定感がなかったとのこと。それを補う形で金型加工が施されていたそうで、同社の技術もそうしたなかで磨かれたものです。

「金型メーカーの評価として『コスト』『対応力』『成形品質』『成形効率』の4つがありますが、業界ではコストや対応力ばかりが重視されています。当社では木

型、鋳物、加工などの工程を自社で一貫させ、成形品質や成形効率を追求してきました。新しい知恵を入れなければ、進歩はありませんから」と語る中村裕一社長。その考えから誕生したのが、画期的な「発泡スチロール成形用特殊金型」です。

工程をがらりと変えた 画期的な特殊金型を独自に開発

従来の発泡スチロール成形用の金型では、原料の発泡ビーズ（樹脂粒体を3

SAKAIの傑作

1台で何役も活躍するポータブルジャンプスターター

外出先でバッテリーが上がった際のエンジン始動に役立つジャンプスターターですが、「トランクに入ればなしで放電していたために役立たなかったという事が多いのではないかと。非常時にすぐ役立つためには、日常的に使用していることが大切」と有限会社ダイキ 城ヶ崎専務は考え、家庭電源と車のアクセサリソケットの両方から充電出来る「ポータブルジャンプスターター」を開発。さらに誰でも簡単にバッテリー上がり解消できるようボタン一つで、ジャンプスターターから車内のアクセサリソケットを通してカーバッテリーを充電することも出来るよう設計、簡単にエンジン始動することが可能になりました。※カーバッテリーに微量残量がある場合のみ。残量がない場合は直にバッテリーにクランプで接続する必要があります。

従来の箱型よりも基板構造が複雑化しましたが、見た目にも美しい円柱形状は車内のドリンクホルダーに収まるよう設計されており、上部の4つのUSB出力ポートでスマートフォンやゲーム機などの急速充電が行なえ、充電ステーションとして日常的に使える仕様が特徴的です。その他にも、緊急信号機能・据え置き又は手持ちライト・緊急脱出用ハンマー・本体が発熱するウォーマー機能と様々なシーンで多岐に渡って使えるように設計されており、至れり尽せりの一台となっています。



付属のクランプで直接バッテリーにつなげば、瞬間的に電流を流し充電します。



USB出力ポートは4口。さまざまなデバイスへの対応が可能。



有限会社ダイキ

代表者名／代表取締役社長 城ヶ崎 喜久夫
本社／堺市美原区太井523-1
TEL／072-369-3970
設立／1978年設立
資本金／1,000万円
従業員数／17名
事業内容／自動車用品デザイン・企画・開発・製造
自動車用品製造・卸
ノベルティグッズ企画・販売・製造
自動車関連商品・資材の輸出入 など
<http://daikicold.com/>

